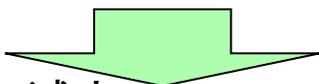


# 掛川市(北陸圏・中部圏ブロック)

【計画期間 21年3月～27年2月】※ 期間延長適用後

- ・江戸期 : 城下町、宿場町として発展。
- ・戦後～ : JR新幹線、在来線等の駅があり、交通の拠点。報徳思想※が盛ん。  
※道徳と経済とを併せ説いた二宮尊徳の教え。

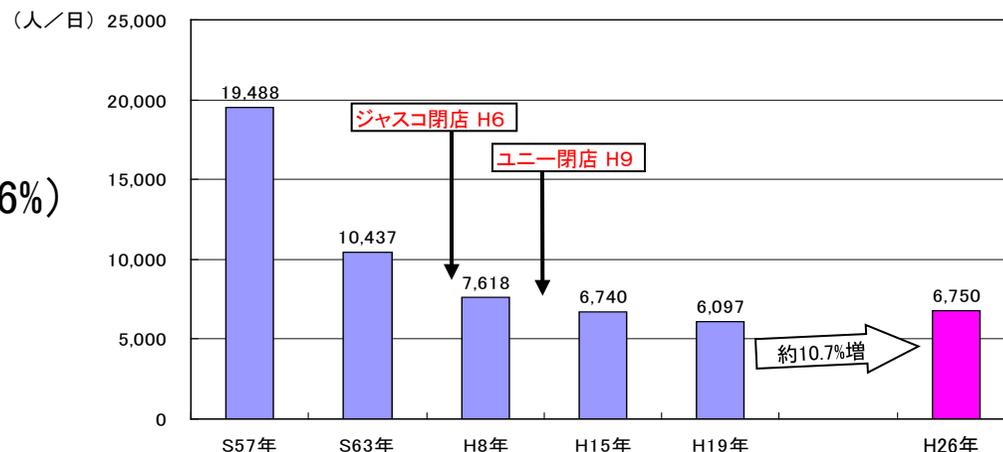
- 掛川駅は新幹線や在来線が結節し、ターミナル駅として機能。しかし、モータリゼーションの進展等により鉄道への依存が減少。
- 駅前の2つの大型店の撤退があり、商業機能、集客力の低下が顕著。
- 空き店舗の増加、通行量の減少等によるにぎわいの低下、地域コミュニティの弱体化が進展。



- 歩行者通行量の減少  
S63: 10,437人 / 日 → H19: 6,097人 / 日(▲41.6%)
- 居住人口の減少  
S63: 2,280人 → H20: 1,579人(▲30.7%)
- 店舗数の減少  
S63: 516店 → H19: 357店(▲30.8%)

目標	指標	現況値	目標値(H26)
様々な目的で人が集うにぎわいのあるまち	主要地点の歩行者通行量	6,097人 / 日 (H19)	6,750人 / 日 (10.7%増)
快適で便利に多くの人々が住むまち	中心市街地の居住人口	1,579人 (H20年)	1,700人 (7.7%増)
活発な商業・業務・サービス活動のあるまち	中心市街地の営業店舗数	357店 (H19年)	380店 (6.4%増)

【歩行者通行量[平日・7地点]の推移と数値目標】

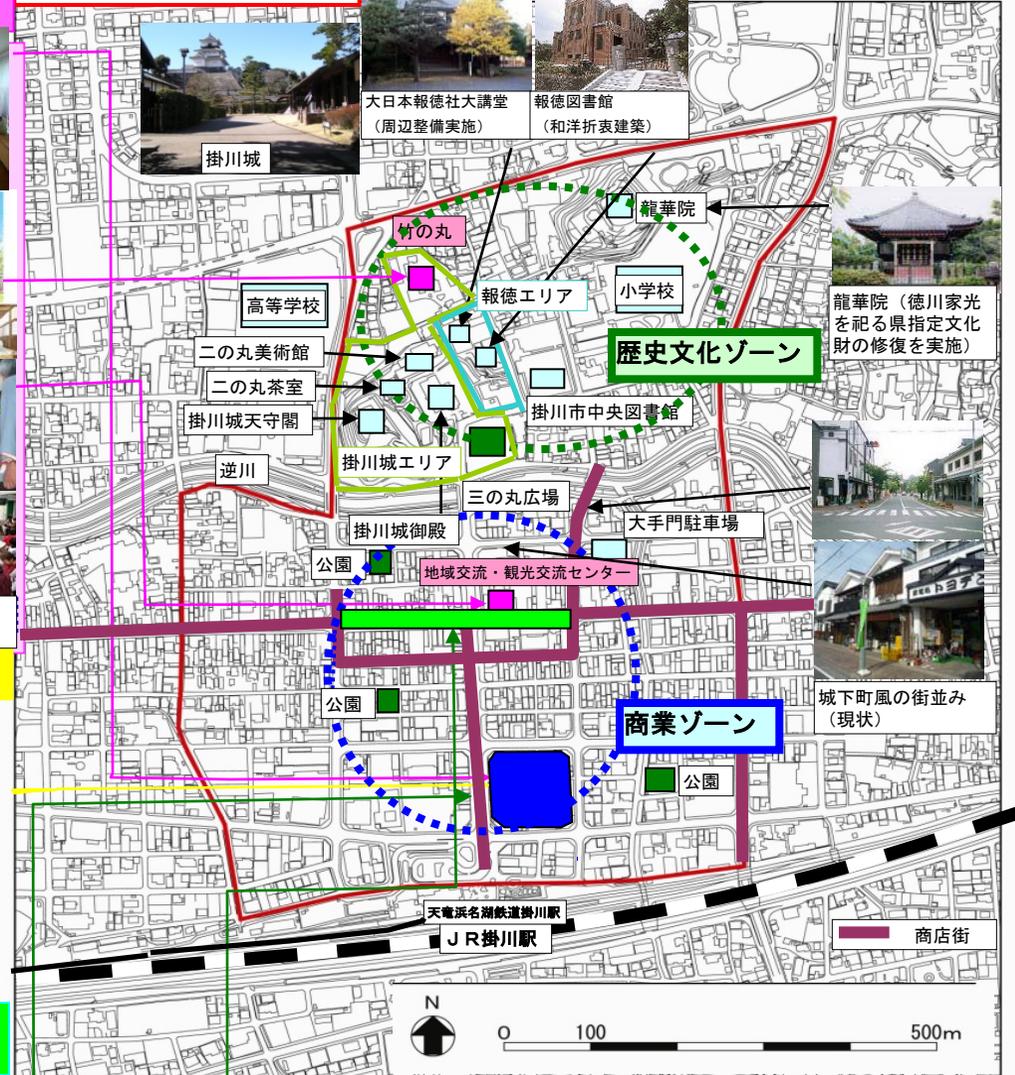


- 市民活動施設の整備充実を図ることなどにより様々な目的で人が集うにぎわいのあるまちを目指す。  
⇒主要事業: ①再開発地区施設整備(公共公益施設)、②竹の丸修復、③地域交流・観光センター整備、④市民活動支援 等
- 住宅を整備、誘導することにより快適で便利に多くの人々が住むまちを目指す。  
⇒主要事業: ①再開発地区施設整備(住宅)
- 生活支援商業施設を充実すること等により活発な商業・業務・サービス活動のあるまちを目指す。  
⇒主要事業: ①再開発地区での施設整備(商業)、⑤中町連雀快適空間整備、⑥空き地利用促進 等

# 掛川市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 様々な目的で人々が集うにぎわいのあるまち

中心市街地 区域：50.5ha



市民活動拠点 (現状)



龍華院 (徳川家光を祀る県指定文化財の修復を実施)



城下町風の街並み (現状)



商店街

大日本報徳社大講堂 (周辺整備実施)

報徳図書館 (和洋折衷建築)

掛川城

竹の丸

報徳エリア

龍華院

高等学校

二の丸美術館

二の丸茶室

小学校

掛川城天守閣

逆川

掛川城エリア

歴史文化ゾーン

三の丸広場

掛川城御殿

掛川中央図書館

公園

地域交流・観光交流センター

大手門駐車場

公園

商業ゾーン

公園

天電浜名湖鉄道掛川駅

JR掛川駅

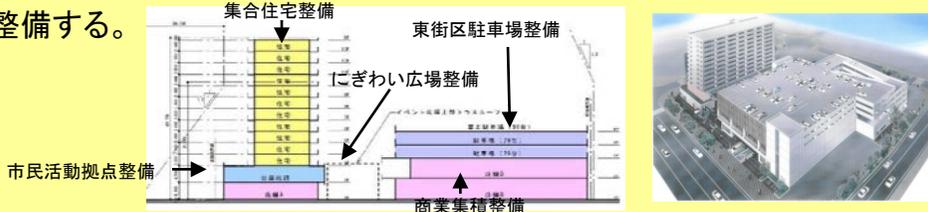
公園

N

0 100 500m

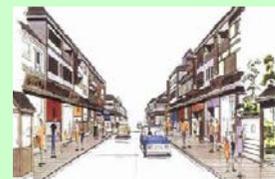
## 快適で便利に多くの人々が住むまち

- 再開発地区での施設整備 (住宅) (①)  
市街地再開発事業により、公共公益・商業施設と併せて**集合住宅(77戸)**を整備する。



## 活発な商業・業務・サービス活動のあるまち

- 再開発地区での施設整備 (商業) (①)  
市街地再開発事業により整備される商業床を、権利者が設立する法人が取得し、**中心市街地に不足している生鮮食料品スーパー等集客力の高い業種を集積**する。
- 中町連雀快適空間整備事業 (⑤)  
老朽化したアーケードを撤去しオープンモールとすると共に、舗道を整備し良好な**買物環境を確保**する。併せて、**城下町のイメージを持つファサードを形成**するよう地区計画を策定する。



- 空き地利用促進事業 (⑥)  
中心市街地内の**空き地等における住宅や事業所等の建設に対し補助**を行い、誘致促進を図る。
- テナントミックス推進事業  
県の基金を活用し、まちなかの空き店舗を利用して、**有力なテナントを戦略的に誘致**する。